独立行政法人教職員支援機構（NITS）立命館大学センター

2025年度 オンライン 教職員研修講座

自由申込制
定員制限無
参加費無料

NITS 立命館大学センターは、独立行政法人教職員支援機構の地域センターとして、2019 年に立命館大学大学院教職研究科内に開設されました。京都府、京都市、滋賀県、大阪市、大津市、寝屋川市の教育委員会・教育センターをはじめ、関連機関との連携を図りながら、教職員の学びを支援するための組織です。

2025 年度は、教職員向けの研修講座として、下記の７講座をオンデマンド配信で開催します。個人及び学校単位での申し込みも可能ですので、全国各地から、多くの方々にご参加いただきますよう、ご案内いたします。なお、この７講座については、本センターが連携する各教育センターからも、後日研修講座として Web 配信が予定されています。

各講座の詳細につきましては、NITS 立命館大学センターのホームページにてお知らせします。

【連携教育委員会】京都府教育委員会　京都市教育委員会　滋賀県教育委員会　大阪市教育委員会　大津市教育委員会　寝屋川市教育委員会

４月 10 日配信開始（2024 年度講座の２年目配信）

不登校の捉え方と未然防止・初期対応 －子どもの権利・願いに即した支援－

立命館大学　名誉教授
近江兄弟社高等学校　校長
春日井　敏之

主な受講対象　管理職 / 生徒指導・教育相談担当者 / 中堅教員 / 全教職員向き

受講者を対象とした対面協議8月5日(火)13時～15時に実施
会場：立命館朱雀キャンパス

チーム学校（学校組織マネジメント）の今 －働き方改革、ウィズコロナを経た現状を考える－

同志社女子大学教職課程センター　特任教授
京都教育大学大学院連合教職実践研究科　教授
水本　徳明

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 / 中堅教員 / 全教職員向き

７月 10 日配信開始（2025 年度講座）

「総合的な学習の時間」の評価をどうするか －「学習のための評価」「学習としての評価」へ－

兵庫教育大学　教授　勝見　健史

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 /　中堅教員 / 全教職員向き

国際バカロレア教育に学ぶ授業改善

灘中学校・灘高等学校　教諭
井上　志音

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 / 中堅教員向き / 全教職員向き

通常学級におけるインクルーシブ教育 －私たちが今できること－

ノートルダム清心女子大学　准教授
青山　新吾

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 / 生徒指導・教育相談担当者 / 全教職員向き

教育におけるICT活用をさらに推進させるために

大阪教育大学　教授
寺嶋　浩介

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 / 全教職員向き

日本の教育の場におけるウェルビーイングの醸成

京都大学　教授
内田　由紀子

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 / 中堅教員 / 全教職員向き

●お申込み方法などの詳細はNITS立命館大学センターホームページをご覧ください。　NITS立命館大学センター

※各連携教育センター等の研修講座として参加する場合は、NITS立命館大学センターへの参加申込を行わず、各教育センター等からの指示にしたがってお申込みください。

【主　　催】
独立行政法人教職員支援機構立命館大学センター
京都市中京区西ノ京朱雀町1（立命館大学朱雀キャンパス内）
【お問合せ先】立命館大学朱雀独立研究科事務室
TEL：075-813-8269　mail：kyoken-n@st.ritsumei.ac.jp

2025年度（令和7年度）オンライン教職員研修講座一覧

４月 10 日配信開始（2024 年度講座の２年目配信）

不登校の捉え方と未然防止・初期対応 －子どもの権利・願いに即した支援－

コロナ禍を経て急増し続けている不登校によって、学校の存在意味が改めて問われています。
子どもの最善の利益の実現のために、不登校の子どもへの個別の支援に加えて、子どもたちが通いたいと思える学校づくり、学級づくりが大切です。そのために、担任に加えて、学校組織としての取組、学校内外での多様な居場所の在り方、保護者についても検討していきます。

講　師　立命館大学　名誉教授
近江兄弟社高等学校　校長
春日井　敏之

主な受講対象　管理職 / 生徒指導・教育相談担当者 / 中堅教員 / 全教職員向き

受講者を対象とした対面協議8月5日(火)13時～15時に実施

チーム学校（学校組織マネジメント）の今 －働き方改革、ウィズコロナを経た現状を考える－

「チーム学校」は、学校・教職員と多様な専門職・専門機関の連携協働によって学校の組織力を高める方策でありますが、前提として教職員の同僚性を高め、学校が「学習する組織」となることが必要です。本講座では「チーム学校」の現状と課題を検討し、学校の課題解決につながる実践のポイントを考えます。

講　師　同志社女子大学教職課程センター　特任教授
京都教育大学大学院連合教職実践研究科　教授
水本　徳明

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 / 中堅教員 / 全教職員向き

７月 10 日配信開始（2025 年度講座）

「総合的な学習の時間」の評価をどうするか －「学習のための評価」「学習としての評価」へ－

主体的学習における教師の「指導」のあり方を考えていくことは、すなわち、同時に「評価」のあり方を考えていくことに他なりません。「評価」が、教師のためだけに行われていて良いのか、これまでの「評価」〈「指導のための評価」（assessment for teaching）〉を「総合的な学習の時間」を視点に問い直してみましょう。

講　師　兵庫教育大学　教授　勝見　健史

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 /　中堅教員 / 全教職員向き

国際バカロレア教育に学ぶ授業改善

国際的視野を持つ人間の育成を目指す「国際バカロレア（IB）」は、IB認定校のみならず、IBではない一般の学校も参照しうる教育上の知見を数多く有しています。本講座では、IBの歴史・理念を概観したうえで、「逆向き設計論」や「概念型学習」といった教育方法についても学び、日本の教育への活用について考えていきます。

講　師　灘中学校・灘高等学校　教諭
井上　志音

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 / 中堅教員向き / 全教職員向き

通常学級におけるインクルーシブ教育 －私たちが今できること－

インクルーシブ教育」を通常学級で実践するためには、どうすればよいのでしょうか？　様々なマイノリティ属性を含むすべての子どもたちが包摂される教育を目指すプロセスがインクルーシブ教育です。そのプロセスを歩んでいくために、今，私たちができることを一緒に考えていきましょう。

講　師　ノートルダム清心女子大学　准教授
青山　新吾

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 / 生徒指導・教育相談担当者 / 全教職員向き

教育における ICT 活用をさらに推進させるために

教育における ICT 活用の重要性は，多くの学校関係者に認識されるようになってきました。本講座では，なぜ ICT 活用が重視されるようになっているのかについて政策等を背景にお話したうえで，何をどう進めればよいかについて解説します。その際に，校内での学習の場をどのように設けることが良いのかなどを提案します。

講　師　大阪教育大学　教授
寺嶋　浩介

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 / 全教職員向き

日本の教育の場におけるウェルビーイングの醸成

日本社会に根差したウェルビーイングの実現を目指す教育についての指針が第 4 期教育基本計画に盛り込まれています。本講義においてはこの内容に触れながら、「ウェルビーイングとは何か」「日本社会におけるウェルビーイングとは」という観点について解説します。特に教育の「場」のウェルビーイングを実現することの重要性を説明します。

講　師　京都大学　教授
内田　由紀子

主な受講対象　管理職 / 教務担当者 / 中堅教員 / 全教職員向き

申込方法について

※オンライン配信講座の受講（視聴）には事前申込が必要です。
申込いただいた方に、メールにて視聴 URL をお送りいたします。

申込受付期間：**2025 年 4 月 10 日～ 2026 年 2 月 1 日**

配信（視聴）期間

2024 年度講座の２年目配信	**2025 年 4 月 10 日～ 2026 年 2 月 15 日**
2025 年度講座	**2025 年 7 月 10 日～ 2026 年 2 月 15 日**